

楽しい夏休みになりましたね。

子供は、みんなすばらしい才能をもっています。一人ひとりの内に無限が宿っています。

この夏、たくさんの本を読んで新しい世界を知ったり、元氣いっぱい外で遊んで自然とふれあったりしてくださいね。計画を立てて、ふだんできない事にいろいろ挑戦してみましよう。

【お茶の心ってなんだろう】
茶道はおもてなしの心です。



一杯の茶を差し上げる。それだけのことであり、それを含んだ全てのことなのです。一杯のお茶、つまり日々の何気ないものの中にこそ仏が存在する、という心です。自分をへりくだり、客を敬い、真心をもっておもてなします。

一期一会(いちいちえ)

今という一度きりの出会いを大切にしなさいということ。同じ客で同じ道具で同じ季節に茶会を開いたとしても、二度と同じ会をすることは出来ない。常に今は今しかないのです。交わした言葉、思った気持ち、垣間見た笑顔、そのとき吹いていた風。それら全てを尊く愛しく思い、全ての出会いに感謝と感動の念を持ち、一期一会の心で過ごしたいものですね。

和敬清寂(わけいせいじやく)

この四つの文字の中には、全てのお茶の心がこめられているといわれています。

「和」とは、お互いに心を開いて仲良くするということです。



「敬」とは、尊敬の敬で、お互いに敬いあうという意味です。

「清」とは、清らかという意味ですが、目に見えるだけの清らかさではなく、心の中も清らかであるということ。と。

「寂」とは、どんなときにも動じない心です。

◎オープン寺子屋はひょうご子ども若者応援団の助成を受けて実施しました。

【お盆】十五日



仏教行事のように思われていますが、これも日本固有の祖霊信仰です。「盆と正月」というように、正月は神式、盆は仏式の祖霊迎えの行事です。七夕の笹竹は門松と同じく祖先を迎えるアンテナの役目。ご先祖の方々の大変なご努力の積み重ねのお蔭で、今日の私達の平穏で幸せな日々の生活があることを想うと、感謝の心で一杯になります。

七日盆で七日からお盆が始まる地方もあります。十三日が迎え火。月おくれ盆といって八月にお盆の地方も多い。迎え火や送り火は、祖先の通る道筋を明るくするための門火。盆踊りはお迎えした祖先に供するための踊りですが、祖霊も一緒に踊っていたり、地方もあるようです。

【海の日】第三月曜(今年は七月十八日)

「海の日」は、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」祝日です。平成七年に祝日法が改正された折に制定されたので、他の祝日に比べると最も新しい祝日です。正確な由来に遡ると昭和十六年に七月二十日を「海の記念日」としたのを引き継いだもの。この七月二十日とは、

明治天皇が明治九年の東北・北海道ご巡幸の折、陸路の旅は青森まで、あとは海を渡って函館に巡航され市内ご視察の後、海路でご帰還、横浜港に到着された日です。



このご巡幸は、江戸時代の幕藩体制から中央集権国家への改革で、旧武士たちに不満が燃っていました。その心のしこりを解き、国民の心を一つにしたいと願っておられた明治天皇が、国民に接することで「国づくり」を進められたのです。ご先祖以来の「国民一体」の姿に、我が国の伝統文化への回帰を願われたのが、このご巡幸でした。

大東亜戦争後の復興に際しても、昭和天皇の全国ご巡幸が今日の日本繁栄の出発点でした。新しい国を建設するため荒波の中に漕ぎ出す苦難の道を、天皇さまは国民の先頭に立って歩まれたのは、明治天皇の東北・北海道のご巡幸と同じで君民一体の姿なのであります。

現在では、「海洋国日本」ですが、明治の時代はまだ汽船による航行には相当の不安があった一般国民も、同行の人々が船酔いに苦しんでいたのに天皇さまは泰然としておられたそうで、それを伝え聞いた国民は、このご巡幸を機に海運と船旅への理解を深め、その利用も急増したそうです。

日本の国の国土面積は約三十八万平方キロメートルで世界で六十番目ですが、経済的な管轄権が与えられた海域は国土面積の十二倍の四百五十万平方キロメートル。これは世界で七番目となる広さです。「海洋国日本」といわれる所以です。

和歌コーナー



できたできた たなばたかざり

かいたよ ねがいごと かざりもつけた

三才 Y・M

☆ささのにはに、七夕のかざりをいっぱいつけて
きれいでしたね。

寺子屋で おもしろかったよ

おしゅうじが

はじめてかいた おおきくかいた

年長 Y・K

☆初めてのお習字、どうどうと書くことができて、
素晴らしいです。

てらこやに くるときトマトをみつけたよ

みどりだったよ ちいさかったよ

年長 K・S

☆まあ、道ばたにトマトの実がなっていたのです
ね。まだちいさかったのね。よく見つけましたね。

だいすきだ たなばたかざり

ねがいはね

おまわりさんになりたいな

年長 Y・T

☆哲兵君は、おまわりさんになりたいのね。すて
きなねがいごとですね。



ささかざり みんなでつくった たのしかった

ねがいごと かなうといいな

年長 H・H

☆ささにつけた、ねがいごとを、おほしさまは、
空から見られたことでしょう。

学校の じゅぎょうで水泳

四メートルおよげただよ

うれしかった

小学四年 Y・T

☆四メートル泳げてよかったですね。この夏、ど
のくらい泳げるようになるか楽しみですね。

年一度 たなばたまつり

おりひめとひこぼしとの

いちばんのねがい

小学四年 Y・Y

☆おりひめさまとひこぼしさまに、どんな願い事を
したのかな。かなうといいですね。



今月の論語

子曰く「其れ恕か。」
しのたまわ じょ

おのれの欲せざる所、
ほつ ところ

人に施すこと勿かれ。
ひと ほじこ な

(現代語訳)

(子貢が質問して言った「ただひとことで、一
生実行する価値のある言葉はないでしょう
か。」)孔子が答えておっしゃった。

「それこそ、恕(思いやりの心)という言葉だ
な。自分が人からされたくないというよう
な、いやなことを、人に押しついたりしない
ということだ。」

(解説)

生きていく上でいちばん大切なことを、ひ
とつの言葉で言うとしたら、何でしょう。

それは、「思いやりの心」です。自分が人から
されたら、いやだな、と思うことは、人にし
てはいけませんね。いつも相手を思う、いた
わりの心を持ってたらいいですね

「親子で楽しむことも論語塾」(明治書院)より

お知らせ

次回は、八月二十六日(土)です。

西宮市立中央公民館四階 四〇三室

※抽選で十二時までしか借りられませんので
ので、**十一時四十五分に終わります。**

(文責・藤波)

井上雅夫先生と歩く「知られざる京都歴史探訪」

〜南禅寺・知恩院・祇園をめぐる〜

【日時】 九月二日(土)十時半〜一時

【集合場所】 阪急河原町駅上

高島屋一階ロビー案内所前

参加希望者は、藤波メールまで、ご連絡下さい。

